

第1回宇宙開発委員会（臨時会議）議事次第

1. 日 時 昭和48年1月13日(土)
午前10時～12時
2. 場 所 宇宙開発委員会会議室
3. 議 題 昭和48年度における通信衛星および放
送衛星に関する経費の見積りについて
4. 資 料
委 1-1 前回議事要旨
委 1-2 昭和48年度における通信衛星および放
送衛星に関する経費の見積りについて案

第17回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨

1. 日 時 昭和47年12月27日（水）
午後2時～2時半
2. 場 所 宇宙開発委員会会議室
3. 議 題 (1) 新委員長あいさつおよび委員長代理の
指名
(2) 宇宙開発用輸入物品の関税免除について
4. 資 料
委16-1 第16回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨
委16-2 宇宙開発用輸入物品の関税免除について

5. 出席者

宇宙開発委員会委員長

前 田 佳都男

“ 委 員

山 県 昌 夫

“ “

網 島 毅

“ “

八 藤 東 福

関係省庁職員等

科学技術政務次官

伊 藤 宗一郎

科学技術庁研究調整局長

千 葉 博

“ “ 宇宙開発参事官

山 野 正 登

“ “ 宇宙開発課長

野 口 郎

科学技術庁長官秘書官事務取扱

松 原 伸 一

文部省大学学術局審議官

笠 木 三 郎

（代理：鈴木）

運輸省大臣官房参事官

佐 藤 久 衛

（代理：池田）

気象庁総務部長

石 原 明

（代理：高谷）

“ 企画課気象衛星準備室

中 村

海上保安庁総務部長

高 野 景

（代理：樋口）

郵政省電波監理局審議官

高 田 静 雄

（代理：林）

建設省大臣官房技術参事官

宮 崎 明

（代理：須田）

宇宙開発事業団システム計画部長
事務局

黒 田 泰 弘

科学技術庁研究調整局宇宙企画課長 松 元 守 他

6. 議事要旨

(1) 新委員長あいさつおよび委員長代理の指名

前田佳都男新委員長から、新仕のあいさつがあり、山県昌夫委員が引き継ぎ委員長代理に指名された。

(2) 前回議事要旨について

第16回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨が確認された。

(3) 宇宙開発用輸入物品の関税免除について

科学技術庁研究調整局宇宙開発課長から資料委16-2について説明が行なわれたのち、以下の質疑応答が行なわれた。

八藤：資料委16-2の「メーカーに一旦入れ」という表現はどういう意味か。

宇宙開発課長：「メーカーが輸入し宇宙開発事業団に納品する」の意味である。

八藤：「同事業団が輸入する物品」には、こうしたメーカーが輸入する物品も含まれるのか。

宇宙開発課長：含まれる。

八藤：免税の対象範囲はどうか。

宇宙開発課長：今回、要求している国内措置では、地上設備を含めた関係機器を免税対象に含めている。

八藤：今回、改正される予定の関税暫定措置法の期限はいつまでか。

宇宙開発課長：昭和50年3月31日までを予定している。

昭和48年度における通信衛星および
放送衛星に関する経費の見積りにつ
いて(案)

昭和48年1月13日
宇宙開発委員会

昭和48年度における宇宙開発関係経費の見積りのうち、郵政
省から要望のあつた実験用の中容量静止通信衛星および実験用の
中型放送衛星に関する経費の見積りは、次のとおりである。

I 基本方針

増大する通信需要および教育、娯視聴解消、国際放送等の
放送需要に適切に対処するための大容量静止通信衛星および大
型放送衛星を実現する過程として、実験用の中容量静止通信衛
星および実験用の中型放送衛星を昭和51年度を目途に開発し
打ち上げることが、関係機関から強く要請されていることに鑑
み、両衛星について所要の開発研究を行なう。

II 事業の概要

Iの基本方針に基づき、昭和48年度においては、実験用の中
容量静止通信衛星および実験用の中型放送衛星に関する各種シ
ステムの研究を行なうとともに、衛星搭載用機器の研究を行な
う。

III 昭和48年度においてIIの事業を行なうに必要な経費

IIの事業を行なうに必要な経費は別表のとおりである。

省庁 郵政省	担当機関 電波監理局	事項 通信衛星および放送衛星 の開発研究に関する経費	別表		要 旨
			昭和47年度 予算額	昭和48年度 経費	
			0	872,557	実験用の中容量静止通信衛星に関する開発研究 実験用の中型放送衛星に関する開発研究 395,256 477,301

(単位：千円)